

## 第5期麻生区区民会議 第13回企画部会 議事要旨

- 1 開催日時：平成28年2月5日（金）午後3時00分～午後4時35分
- 2 開催場所：麻生区役所第5会議室
- 3 出席者：[委員]  
岡倉委員、金光委員、白井委員、菅野委員、高倉委員、高橋(慶)委員、林委員  
(欠席委員) 上野委員  
[事務局]  
井上課長、白石担当係長、榎本
- 4 傍聴者 0名
- 5 配布資料
  - 資料 1 各専門部会議事要旨
  - 2 第7回全体会議次第(案)
  - 3 各専門部会全体会議報告書(案)
  - 4 区民会議フォーラム関係資料
  - 5 区民会議報告書について
  - 6 麻生区市民提案型協働事業委員会委員の推薦について

### 参考資料

- 1 第12回企画部会議事要旨
- 2 区民会議提言集

## 6 議事

### (1) 専門部会の検討経過報告

#### ア 若い世代が住みやすいまちづくり部会

#### 【説明事項】

・白井部会長から、資料1-1・1-2により第12・13回部会の内容について報告。麻生区の魅力のPRについて、今の提言内容では、これといった目玉がないため、的を絞った方向・内容・対象を明確にしていく必要がある。生活としてみた場合は、生産年齢を対象とした、育児の面について、麻生区にはない「育児コンシェルジュ」などを検討してみてもよいではないか。キャッチフレーズについて、今までの審議では「いなかのある都会」の1つの例しか挙げていないが、調査を進める上で、麻生区は住みやすいまちということが分かってきたので、若い世代が住みやすい、生活しやすいといった例を挙げてよいのではないか。区のHPを検討する上では、現在7区で統一されているが、麻生区ならでは、といった感じがあるとよい。空き家に安く住めるといったことに

についても、様々な団体や人同士の交流、仕組み作りが必要。麻生区で区民まつりが毎年開催されているが、テーマや目的が分からない。麻生区の魅力をPRするといったことをテーマとしてもらうとよいが、体制・活動の実施にあたり、オーガナイザーがいない。これらの検討について、シナリオを作り、関係団体に集ってもらい必要性や方向性を知ってもらうため、5月頃にフォーラム開催するなどを、今後検討していく予定。

(主な意見)

- ・フォーラムの開催は5月頃でよいか。
- 具体的な開催時期等については、今後検討していく予定。
- ・PRの方法として、映像で魅力を伝えてみてはどうか。
- ・PRの方法については、様々なコンセプトを出して、効果的なものを検討していくのがよいのではないか。

イ 市民活動・地域活動の活性化部会

- ・「(2) 第7回全体会議について」で、併せて説明するため、省略。

(2) 第7回全体会議について

①次第(案)について

- ・(2)～(4)については、事務局で説明を行う。
- ・各専門部会の説明は15分、質問は10分を目安とする。
- ・「(3) 区民会議報告書について」は、スケジュールと報告書の概要について、報告する。

②若い世代が住みやすいまちづくり部会

【説明事項】

・資料3-1について、白井部会長より説明。「提言に向けた検討」についてが、今回の報告のメインとなるが、若い世代にとって、麻生区は住みやすいまちだということを前提に、検討している。様々な魅力をより高める方策や資源の活かし方を検討している。また、区にある様々な魅力を効果的に若い世代にPRするため、キャッチフレーズや区HPの改善などの取組を検討していく予定。

(主な意見)

- ・学生にとって、「若い世代が住みやすいまち あさお」とあるが、どういう意味か。
- 学生時代に住んでいたところは、地の利や雰囲気を知っているため、結婚した時などにまた戻ってきてもらいやすい。
- ・「若い世代が住みやすいまち あさお」の実現とあるが、アンケート調査を進めていく中で、ある程度、麻生区は住みやすいまちであるということがわかってきたので、さらに充実させていくことが必要ではないか。ただ、そのPRが足りていないため、もっと区民などに対してアピールをしていく必要があると思う。
- ・外から見ると新百合ヶ丘が目立っているが、麻生区と新百合ヶ丘をマッチングさせて、麻生区をもっと表に出してPRしていく必要があるのではないか。

### ③市民活動・地域活動の活性化部会

#### 【説明事項】

・資料3-2について、岡倉部会長より説明。「提言の方向性の検討」が今回の報告のメインとなるが、世田谷ボランティアセンターへの視察を受けて、ボランティアに気軽に参加できる理想的な仕組みとして、あさおボランティアセンター（仮称）のようなプラットフォームが必要。新しく一歩を踏み出す人にとって、FACE to FACEのきめ細やかな相談体制が必要であり、背中を押す仕組み（コーディネーター養成）を整え、地域デビューを支援する。また、ボランティアの関連情報を一元化管理し、発信していく仕組みを整える。これらが上手く組み合わせることで、人と団体とのマッチングが円滑に進み、ボランティアが地域で身近なものになるのではないかと。

#### （主な意見）

- ・市役所には、広報課があるが、区役所には広報を専門でやっている部署がないため、情報をコントロールできていない。色々な所が情報を出しているが、多すぎて整理できていない。町会回覧なども情報量が多すぎて、しっかりと見ることができない。
  - ・資料3-2の区民会議フォーラムの中に記載してある、「詳細は企画部会報告」については、削除したほうがよいのではないかと。
- 削除することとした。

#### （3）区民会議フォーラムについて

- ・資料4-2の役割分担について、「受付」と「会場案内」の役割が決まっていないため、全体会議後に、若い世代が住みやすいまちづくり部会を集めて、調整することとなった。
- ・資料4-3の会場配置図について、区民会議パンフレットやニュースを設置し、展示ブースについては、市民活動・地域活動の活性化部会が「健康づくりのつどい」で使用したものを掲示することとした。
- ・資料4-4の参加者アンケートについて、専門部会の内容に係わる質問は、各専門部会で1問ずつ質問を検討・調整し（若い世代が住みやすいまちづくり部会は、フォーラムまでに部会が開催されないため、部会長と事務局で調整し、市民活動・地域活動の活性化部会は次回部会で検討する）、3項目に入れることとした。
- ・資料4-7の委員紹介については、今回は行わないこととする。
- ・図書館は、シニア世代の利用者が多いため、ポスターを目立つところに掲示してもらえると来場者が増えると思う。
- ・第7回全体会議の場でも伝えるが、各委員個人でもチラシを配布して、フォーラムの周知に協力していただきたい。

#### （4）区民会議報告書について

- ・4月以降についても、企画部会は、報告書の校正などの全体調整のため、開催を予定している。各専門部会については、必要に応じて勉強会等を開催していく。
- ・資料5-2について、各自で内容を確認し、次回部会で検討する。
- ・資料5-3、5-4について、今後、各専門部会の中で検討していく。また、項目立てについて

は、資料5-2にある、「区民会議の課題解決までの流れ」に合わせて、構成していくこととした。

- ・報告書の構成について、第4期と同様に「各部会の審議と取組み」と「提言」を別の章にすることとした。

- ・若い世代が住みやすいまちづくり部会においては、5月頃にフォーラムを開催予定であるが、その内容を報告書に入れた方がよいのではないか。

→5月開催であるとスケジュール上、報告書に入れることは難しい。提言の番外編という形になるのではないか。

→次回（2月）の、若い世代が住みやすいまちづくり部会において、スケジュールなどの確認を行うこととした。

(5) 区民会議からの麻生区市民提案型協働事業委員会委員の推薦について

- ・事務局から資料6について説明。

**【決定事項】**

- ・区民会議からの麻生区市民提案型協働事業委員会委員は、金光委員から菅野委員に変更。

- ・第7回全体会議に諮り、承認を得る。

以上